

茨城県総合がん対策推進計画－第五次計画－各論の骨子

実施分野	茨城県総合がん対策推進計画―第四次計画―の骨子	整理番号
がん教育とがん予防	第1章 がん教育とがん予防	
	1 がんに関する正しい知識の普及	
	(1) 総合的な普及啓発・情報提供と県民の参画の推進	1
	(2) 情報提供の主体と内容	2
	①茨城県、②市町村、③がん診療連携拠点病院等がん専門医療機関、④がん診療連携拠点病院以外の医療機関、⑤企業・職場、⑥教育現場、⑦各種関係団体、⑧マスコミ、⑨患者会	
	(3) 「がん教育」の推進	3
	(4) 茨城県がん検診推進強化月間	4
	2 がん予防対策の推進	
	(1) がん対策推進のための人材育成及び活動の推進	5
がん検診と精度管理	①がん予防推進員、②がん検診推進サポーター	
	(2) たばこ対策の推進	6
	①たばこの健康リスクに関する知識の普及、②受動喫煙対策の推進、③未成年の喫煙防止対策の推進、④禁煙支援等の推進	
	(3) 食生活改善・運動	7
	①望ましい食習慣に関する普及啓発の推進、②健全な食習慣を支援する環境の整備、③運動習慣の定着促進	
	(4) 感染症対策	8
	①肝炎ウイルスの対策	
	a. 予防、b. 肝炎ウイルス検査の促進、c. 診療体制の充実、d. 普及・相談指導の充実	
	②ヒトパピローマウイルス（HPV）の対策	
がん検診と精度管理	a. HPVに関する正しい知識の普及	
	③ヒトT細胞白血病ウイルス－1型（HTLV－1）の感染予防対策	
	a. 母子感染予防対策、b. 正しい知識の普及	
	④ヘリコバクター・ピロリの対策について	
	3 生活習慣の実態把握と計画の評価	9
	第2章 がん検診と精度管理	
	1 検診受診率の向上	10
	(1) がん検診受診状況の把握	
がん検診と精度管理	①市町村における受診対象者の把握	
	②職場等におけるがん検診の実態の把握	
	(2) がん検診の受診促進対策	
	①がん検診の推進のための協議	
	②がん検診の推進のための啓発	
	③効果的な受診勧奨の推進	
	④がん検診を受けやすい環境の整備	
	⑤民間企業との連携	
	2 検診精度の向上	11
がん検診と精度管理	(1) 精度管理の充実	
	(2) 精密検査受診の支援	
	(3) 新しい検診の科学的情報の収集と導入方法の検討（削除）	
	第3章 がん医療提供体制と生活支援	
	I がん医療体制の整備	
	1 がん医療連携体制の構築	12
	(1) がんの専門的な診療体制の整備	
	①高度・専門的な診療体制の整備	
	②都道府県がん診療連携拠点病院の役割	
がん検診と精度管理	③筑波大学（附属病院）の役割	
	④県の役割	
	(2) がんゲノム医療体制の整備	13
	(3) 病理診断体制の整備	14
	(4) 小児がん・希少がん医療の提供体制の整備	15
	(5) AYA世代のがん・高齢者のがん・難治性がんへの対応	16
	(6) 在宅療養支援体制の整備	17
	(7) 地域におけるがんの医療連携体制	18
	2 がん治療体制の充実とチーム医療の推進	
がん検診と精度管理	(1) 手術療法・放射線療法・化学療法・免疫療法の治療体制の充実	19
	①手術療法、②放射線療法、③化学療法、④免疫療法	
	(2) チーム医療、がんのリハビリテーション、支援療法の推進	20
	①チーム医療、②がんのリハビリテーション、③支援療法の推進、④その他	
	II がんと診断された時からの緩和ケアの推進	
	1 基本的緩和ケアの推進	21
	(1) 医療従事者に対する研修	
	(2) 関係団体、教育機関等との連携	
	(3) 県民への普及啓発	
がん検診と精度管理	2 専門的緩和ケアの推進	22
	(1) 専門的緩和ケアを提供する体制の整備	
	(2) 緩和ケアセンター等の整備	
	(3) 在宅緩和ケア提供体制の構築	
	(4) 在宅緩和ケアに必要な人材の確保・育成	
	(5) がん患者・家族等への在宅緩和ケアの普及	
	III 生活支援体制の整備	
	1 がんに関する相談支援体制の整備	23
	(1) がん相談支援センターの充実	
がん検診と精度管理	(2) 「いばらき みんなのがん相談室」の周知と運営	
	(3) 多様な相談支援体制の充実	
	①ピアサポート事業の充実、②患者サロンの設置、③がんに関する情報提供・相談支援体制の充実	
	2 がん患者の離職防止や再就職のための就労支援体制の整備	24
	(1) 就労問題に関する課題の把握、関係者への働きかけ	
	①現状把握、②相談体制、③事業者、④医療機関	
	(2) 地域における就労支援の関係者による連携	
	3 生活者の視点に立った支援体制の整備	25
	(1) 「いばらきのがんサポートブック」の活用	
がん検診と精度管理	(2) 在宅医療に係る生活支援体制の強化	
	(3) がん患者の就労以外の社会的な問題への対応	
	第4章 がん登録とがん研究	
	I がん登録事業の強化	
	1 院内がん登録の推進	26
	(1) 一般病床200床以上の医療機関における院内がん登録の推進	
	(2) 登録実務者を対象とした研修の推進	
	2 全国がん登録の精度向上（削除）	27
	(1) 医療機関への届出促進及び登録精度の向上	
	3 がん登録情報の活用	28
	(1) がん登録データの有効活用	
がん検診と精度管理	(2) 県民への普及啓発、情報提供	
	II 臨床研究・茨城がん学会の推進	29
	(1) 臨床研究の推進	
	(2) 茨城がん学会の推進	

実施分野	茨城県総合がん対策推進計画―第五次計画― 原案の骨子（取り組むべき対策） ※下線は新たに計画に規定する事項	県計画整理番号	国計画整理番号
がん教育とがん予防	第1章 がん教育とがん予防		
	1 がんに関する正しい知識の普及		
	(1) 「がん教育」の推進	3	㉔
	(2) 茨城県がん検診推進強化月間	4	㉔
	(3) 総合的な普及啓発・情報提供と県民の参画の推進	1	㉕
	(4) 情報提供の主体と内容	2	㉕
	①茨城県、②市町村、③がん診療連携拠点病院等がん専門医療機関、④がん診療連携拠点病院以外の医療機関、⑤企業・職場、⑥教育現場、⑦各種関係団体、⑧マスコミ、⑨患者会		
	2 がん予防対策の推進		
	(1) がん対策推進のための人材育成及び活動の推進	5	㉔
がん教育とがん予防	○がん予防推進員		
	(2) たばこ対策の推進	6	①
	①たばこの健康リスクに関する知識の普及、②受動喫煙対策の推進、③20歳未満の喫煙防止対策の推進、④禁煙支援等の推進		
	(3) 食生活改善・運動	7	①
	①望ましい食習慣に関する普及啓発の推進、②健全な食習慣を支援する環境の整備、③運動習慣の定着促進		
	(4) 感染症対策	8	②
	①肝炎ウイルスの対策		
	a. 予防、b. 肝炎ウイルス検査の促進、c. 診療体制の充実、d. 普及・相談指導の充実		
	②子宮頸がんの予防対策		
がん教育とがん予防	a. HPVに関する正しい知識の普及、b. HPVワクチン接種の勧奨		
	③ヒトT細胞白血病ウイルス－1型（HTLV－1）の感染予防対策		
	a. 母子感染予防対策、b. 正しい知識の普及		
	④ヘリコバクター・ピロリの対策について		
	3 生活習慣の実態把握と計画の評価	9	①
	第2章 がん検診と精度管理		
	1 検診受診率の向上	10	③
	(1) がん検診受診状況の把握		
がん検診と精度管理	①市町村における受診対象者の把握		
	②職場等におけるがん検診の実態の把握		
	(2) がん検診の受診促進対策		
	①がん検診の推進のための協議		
	②がん検診の推進のための啓発		
	③効果的な受診勧奨の推進		
	④がん検診を受けやすい環境の整備		
	⑤民間企業との連携		
	(3) がん検診受診率向上に係る取組の評価と見直しについて		
がん検診と精度管理	2 検診精度の向上	11	④
	(1) 精度管理の充実		
	(2) 精密検査受診の支援		
	3 科学的根拠に基づくがん検診の実施について	新設	⑤
	第3章 がん医療提供体制と生活支援		
	I がん医療体制の整備		
	1 がん医療連携体制の構築		
	(1) がん医療提供体制の均てん化・集約化について	新設	
	① 高度・専門的な診療体制の整備に向けた診療機能の均てん化・集約化について	14, 15, 16	⑥⑭
がん検診と精度管理	② 各がん専門医療機関及び県の役割について		
	(2) がんゲノム医療体制の整備	13	⑦
	(3) ライフステージに応じたがん医療・療養環境の整備	新設	
	① 小児・AYA世代、② 高齢者	15, 16	⑮⑯⑰
	(4) 妊産性温存療法について	新設	⑱
	(5) 社会連携に基づくがん対策・患者支援	17, 18	㉔
	2 がん治療体制の充実とチーム医療の推進		
	(1) 手術療法・放射線療法・薬物療法の治療体制の充実	19	⑧
	①手術療法、②放射線療法、③薬物療法、④手術療法・放射線療法・薬物療法に携わる医療従事者の育成・確保		
がん検診と精度管理	(2) チーム医療、がんのリハビリテーション、支援療法の推進	20	⑨⑩⑪
	①チーム医療体制の整備、②がんのリハビリテーションの充実、③支援療法の推進、④その他		
	II がんと診断された時からの緩和ケアの推進		
	1 緩和ケア提供体制について		⑫
	(1) 専門的緩和ケアを提供する体制の整備	21	
	(2) 在宅緩和ケア提供体制の構築		
	2 緩和ケアに係る人材育成について	22	㉔
	(1) 医療従事者に対する緩和ケア研修		
	(2) 関係団体、教育機関等との連携		
がん検診と精度管理	(3) 緩和ケア専門医療従事者の育成について		
	3 県民への普及啓発について		
	III 生活支援体制の整備		
	1 がんに関する相談支援体制の整備	23	⑰
	(1) がん相談支援センターの充実		
	(2) 「いばらき みんなのがん相談室」の周知と運営		
	(3) 多様な相談支援体制の充実		
	①ピアサポート事業の充実、②患者サロンの設置、③がんに関する情報提供・相談支援体制の充実		
	④AYA世代のがん患者の相談支援体制整備		
がん検診と精度管理	2 がん患者の離職防止や再就職のための就労支援体制の整備	24	㉔
	(1) 就労問題に関する課題の把握、関係者への働きかけ		
	①現状把握、②相談体制、③事業者、④医療機関		
	(2) 地域における就労支援の関係者による連携	25	
	3 生活者の視点に立った支援体制の整備		
	(1) 「いばらきのがんサポートブック」の活用		
	(2) 在宅医療に係る生活支援体制の強化		
	(3) がん患者の就労以外の社会的な問題への対応		㉔㉕㉖
	①アピアランスケア、②がん診断後の自殺対策、③その他の社会的な問題について		
がん検診と精度管理	第4章 がん登録とがん研究		
	1 院内がん登録の推進	26	
	(1) 予後情報を付与した院内がん登録の推進		
	(2) 登録実務者を対象とした研修の推進	28	㉔
	2 がん登録情報の活用		
	(1) 全国がん登録データの利活用推進		
	(2) 院内がん登録データの利活用推進		
	(3) 県民への普及啓発、情報提供	29	⑰⑱
	3 がん研究の推進		
	a. 調査研究・臨床研究の推進、b.QI (Quality Indicator) 研究		

（国）第4期 がん対策推進基本計画 ※下線は県計画に規定がなく新たに国計画に規定された事項	整理番号
1. 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実	
(1) がんの1次予防	①
①生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、喫煙)	②
②感染症対策(HPV、肝炎対策、HTLV-1対策、ヘリコバクター・ピロリ)	
(2) がんの2次予防	③
①受診率向上対策について	④
②がん検診の精度管理等について	⑤
③科学的根拠に基づくがん検診の実施について	
2. 患者本位で持続可能ながん医療の提供	
(1) がん医療提供体制等	
①医療提供体制の均てん化・集約化について	⑥
②がんゲノム医療について	⑦
③手術療法・放射線療法・薬物療法について	⑧
④チーム医療の推進について	⑨
⑤がんのリハビリテーションについて	⑩
⑥支持療法の推進について	⑪
⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について	⑫
⑧妊産性温存療法について	⑬
(2) 希少がん及び難治性がん対策	⑭
(3) 小児がん及びAYA世代のがん対策	⑮
(4) 高齢者のがん対策	⑯
(5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装	⑰
3. がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築	
(1) 相談支援及び情報提供	
①相談支援について	⑱
②情報提供について	⑲
(2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援	㉔
(3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）	
①就労支援について	㉕
②アピアランスケアについて	㉖
③がん診断後の自殺対策について	㉗
④その他の社会的な問題について	㉘
(4) ライフステージに応じた療養環境への支援	
①小児・AYA世代について	㉙
②高齢者について	㉚
4. これらを支える基盤の整備	
(1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進	㉛
(2) 人材育成の強化	㉜
(3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発	㉝
(4) がん登録の利活用の推進	㉞
(5) 患者・市民参画の推進	㉟
(6) デジタル化の推進	㊱
【各項目で記載が必要と考えられるもの】	
㉔人材育成	
㉕デジタル化の推進	
感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策	